

平野中だより

令和6年11月1日

＜学校教育目標＞ともに学び挑み夢を語る生徒

【合言葉】～かがやきサイクルでレッツチャレンジ!～

蓮田市立平野中学校 TEL 048-766-9003

ホームページ <http://hiranojhs.o.oo7.jp>

Eメール j-hirano.hasuda@nifty.com

心のホット相談室 TEL&FAX 766-9393



見えない力のはたらき

～認知能力と非認知能力～

校長

10月17日に行われた合唱祭では、ハストピアのホールに生徒たちの素晴らしい歌声が響き渡りました。当日の発表はもちろん、本番に向けて取り組む姿勢にも大変感心いたしました。リーダーを中心に仲間と協力してよりよいものを作り上げようとする姿は、まさに「かがやきサイクルでレッツチャレンジ!」の実践でした。これからの成長もますます楽しみです。

さて、みなさんは「非認知能力」という言葉をご存知でしょうか。いま、育児や教育の世界で注目されている力で、「認知能力」と一体的に高めるとよいとされています。

この非認知能力の研究者として、多くの本を執筆し講演等の活動もされているAll HEROs 合同会社代表で元岡山大学准教授の中山芳一先生と、私は10年以上前に、共通の趣味（音楽）をきっかけに知り合いました。先日、その中山先生と二人で食事をする機会があり、いろいろとお話をする事ができたので、今回はその非認知能力について少し紹介したいと思います。

非認知能力とは、すなわち「心の力」です。認知能力が、試験の点数やIQ（知能指数）のように「点数化」できる能力であるのに対し、非認知能力は、積極性や粘り強さ、自信や協調性など、数値では測れない力のことをいいます。非認知能力は、認知能力と対極にあると考えられそうですが、そうではありません。例えば、「挑戦する力」「あきらめない力」を発揮すれば、難しい課題に最後まで取り組めたり、「コミュニケーション力」を発揮すれば、協働的な学びをより深められたりして認知能力もアップしやすくなるように、両者は深くかかわりあっているのです。さらに、非認知能力は以下のように3つの能力群に分けることができます。

認知能力(点数にできる)	非認知能力(点数にできない)
読み・書き・計算などの見える学力	○自分と向き合う力…自制心・忍耐力・回復力…等
IQ(知能指数)…等	○自分を高める力…意欲・向上心・自信・自尊感情・楽観性…等
	○他者とつながる力…コミュカ・共感性・社交性・協調性…等

自分と向き合う力は、自分にとってネガティブな感情をもつことがあっても、いまの自分の状態へ戻していくための力。自分を高める力は、自分にとってポジティブな感情をもって、いまの自分の状態をよりよいものにしていくための力。他者とつながる力は、他者との意思疎通によって円滑な人間関係を築き、集団の中で共に取り組んでいくための力です。

非認知能力は、自分自身の意識で行動を変え、それを習慣化できれば自ら伸ばすことができるそうです。学校行事に向けた取組や部活動などを含め、学校生活のあらゆる場面で、他者と上手にかかわろうとしたり、自分と向き合いながらなんとか前に進もうと努力し続けたりすることが、非認知能力を伸ばし、認知能力を高めていくことにもつながるのですね。